

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

全銀TCP通信プログラム UNIX版 バージョン 1.20 リビジョン07 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「全銀TCP通信プログラム UNIX版」(Ver.1.20-06→Ver.1.20-07)
において、下記のような改修を行いましたのでお知らせいたします。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下のとおり対応 OS を変更しました。
 - ・日本語 Solaris Ver10 以上
 - ※日本語 Solaris Ver2.5.1～Ver9 を動作対象から除きました。
- ◎以下のとおり対応機種を変更しました。
 - ・SPARC Enterprise シリーズ
 - ・その他、上記機種と互換性のある機種

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[ファイル転送機能関連]

- ・同じステーション ID/ファイル ID に伝送ファイルを連続して登録すると、セクション番号が重複することがある。
- ・テキスト長が大きなメッセージをメッセージごとに論理 ACK を受信することなく連続して送信するファイル転送を行うと、CPU の使用率が高くなる。
- ・ステータスが「TRANS」のレコードが残っている状態で同じステーション ID/ファイル ID のファイル転送を開始すると、新たに開始したファイル転送結果が「TRANS」で残っていたレコードに反映され、本来結果が反映されるべきレコードのステータスは「TRANS」のままとなる。
- ・ファイル転送後のイベント処理が終了するまで TCP レイヤーの FIN パケットを発行しない。
- ・1 次局で、TCP ソケットの切断時に TCP レイヤーの FIN パケットに対して RST パケットを返す。
- ・不要な排他制御により、エラー・ロギング・ファイルにタイプ「0005-00000091」を出力して、ファイル転送が異常終了することがある。

[ZGTCP ファイル転送エージェント関連]

- ・セクション番号に“RECV”の文字列を含むと、送信であるにもかかわらず、伝送ファイルの取り出し (uncatalog) 処理を実行する。

[運用管理コマンド関連]

- ・日付をまたがるように稼働時間帯を指定している場合、0:00～稼働停止時刻までに open コマンドを実行すると、稼働停止・稼働開始のシステムスケジュールが実行されない。
- ・開局要求電文の受信処理中またはリレー処理中に、以下のいずれかのコマンドを実行すると、コマンドの応答が返らないことがある。
 - ・ service コマンド
 - ・ cancel コマンド

[マニュアル関連]

- ・メッセージ一覧に、file コマンドでの以下のメッセージが記載されていない。
「09030300 システムエラーが発生しました。:エラー番号」

以 上